

### 車両整備のための工作機械群パート6

### ボール盤

今回は最後の工作機械群パートとなります。これまで工作機械について1つずつ触れていきましたが、最後にボール盤という機械について言及していきます。

#### 卓上ボール盤

製造元:日立製作所

製造年月日:1950年11月

使用時期:1980年代には使用される。

※さんこうりょく鑽孔力:12mm



#### 直立ボール盤

製造元:淀川機械製作所or萱場製作所

製造年月日:昭和42年(?)

使用時期:1980年代には使用される。

※さんこうりょく鑽孔力:38mm



※鑽孔力とは穴をあける能力のことで、ここでは穴あけ可能な最大直径を示しています。

#### ボール盤とは?

ボール盤は、主に金属の部材に穴をあけるための機械です。先端にドリルを付け、それを高速回転させて金属部品に当てることで穴をあけることができます。

当館の工作機械スペースには、大型のボール盤である“**直立ボール盤**”、小型のボール盤である“**卓上ボール盤(手加減ボール盤ともいう)**”の2種類があります。

#### どのように使われていた?

これらの機械の使い分けは、上記の鑽孔力からもみてとれるように、加工する部材の大きさで決まっていたようです。OBへの聞き取りより、卓上ボール盤は小さい穴開け、直立ボール盤は大きい穴開けという使い分けがされていたことが分かりました。

特に卓上ボール盤がメインで使用されたようです。

#### その他、ボール盤に関わる道具



これらはボール盤に取り付けるドリルです。様々な大きさや形ののものが見られます。ボール盤では、単に穴をあける以外に、穴の壁面を滑らかにしたり、広げたりするなど、様々な加工ができました。この用途に応じて、様々な加工をしていたと考えられます。



これはヤゲン台といい、主に円筒形の部材を固定するために使用されました。真ん中のV字の部分に部材を背設置して使用します。多くの穴が開いていることから、頻りに使用されていたと思われます。

#### 次回予告

### 名古屋から来た車両 KD12 について

【くりでんミュージアムへの問い合わせ】

TEL:0228-24-7961

FAX:0228-24-7962

メールアドレス:info@kuridenpark.com